



学校だより

令和6年 6月 28日
練馬区立北町西小学校
校長 小松田 早苗
第733号

北西小 HP
URL

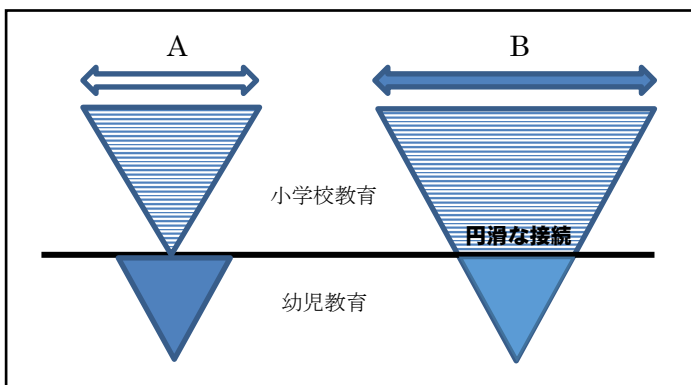


幼保から小へ、小から中へ ー円滑な学びの接続を目指してー

校長 小松田 早苗

6月15日(土)の学校公開には、多くの保護者の皆様に学習の様子をご参観いただき、ありがとうございました。1年生も学校生活に慣れ、広いプールで元気に水遊びをする姿が楽しそうです。生活科では、2年生と一緒に学校探検を行い、校内の様々な場所やそこで関わる人のことについて学んでいました。この経験を更に、地域の学習にも広げていく予定です。

さて、今年度の1年生は、27か所もの幼稚園や保育園から、それぞれ特色ある教育・保育活動を経て入学してきています。1年生に対して、必要以上に幼い扱いをしてしまうことがあります。3月までは「年長さん」として園のリーダー役を担ってきた子供たちです。その経験に個人差はあっても、決してゼロからのスタートではないということを念頭に置き、幼児教育で育まれた資質や能力を活かしながら学習を進めていくことが大切だと考えています。



左のモデル図のように、幼児期の学びを考慮せずに小学校の学びを始めた場合(A)と、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図りながら小学校の学びを始めた場合(B)では、Bの方が子供はより豊かに成長すると考えられます。

文部科学省では、5歳児から小学校1年生の2年を【架け橋期】と称し、園や学校だけでなく家庭や地域、子供に関わる全

ての関係者が連携・協働して子供の生涯にわたる生活の基盤をつくることの重要性を示しています。幼稚園や保育園における“遊びや生活を通しての学び”から、小学校における“各教科等で構成される時間割に基づく学習活動”への移行を、子供が戸惑いや不安を感じることなく、自信や意欲をもって進められるようにしなければなりません。

しかし、コロナの時期には幼児と児童の交流活動が途絶えてしまい、教員の連携についても思うように進んでいない現状があります。先日、近隣の園長先生方と幼保小の連携についてお話しする機会があり、「まずは、園児にとって小学校が知っている場所になることが第一歩です。」と伺いました。【架け橋期】を共有するための交流・連携を共に検討していきたいと思えます。

また、北町中学校、北町小学校との小中一貫教育は、今年度も以下のように「目指す15歳の姿」の実現に向けた取組の実践を進めていきます。

- ・中学校区別協議会(6月、10月) 授業の参観、テーマ別協議、情報交換(教職員)
- ・パワーアップ会議(9月) 児童会、生徒会の交流(代表児童生徒)
- ・部活動体験(10月) 中学校部活動の体験(6年児童)
- ・出前授業(11月) 中学校教員による授業(6年児童)
- ・リトルティーチャー(7月) 夏季学習補充教室の指導補助(1~3年生徒希望者)
- ・職場体験受け入れ(7月) 用務業務体験(2年生徒希望者)

7月の行事予定

| 日 | 月 | 朝 | 時程 | 清掃 | 火 | 朝 | 時程 | 清掃 | 水 | 朝 | 時程 | 清掃 | 木 | 朝 | 時程 | 清掃 | 金 | 朝 | 時程 | 清掃 | 土 | 朝 | 時程 | 清掃 | |
|----|--|---|----|----|--|---|----|----|-------------------------------|---|------|----|-----------------------------|---|-----|----|--|---|------|----|----|---|----|----|--|
| | 1 | 朝 | | ○ | 2 | 国 | | ○ | 3 | × | 短縮時程 | × | 4 | 算 | | ○ | 5 | 集 | | × | 6 | | | | |
| | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | | | | |
| | 安全指導 保育士参観（ことば） | | | | 教育アドバイザー訪問(1-2) ふれあい環境学習(4) スーパージョブ体験(3-1) | | | | 2年生水曜日5時間授業開始 | | | | スーパージョブ体験(3-3) 北町中生徒職場体験 | | | | 避難訓練③ スーパージョブ体験(3-2) 北町中生徒職場体験 クラブ③ | | | | | | | | |
| 7 | 8 | 朝 | | ○ | 9 | 国 | | ○ | 10 | × | 短縮時程 | × | 11 | 算 | | ○ | 12 | × | 短縮時程 | × | 13 | | | | |
| | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | | | | |
| | | | | | 保護者会(123) 14:40 教育アドバイザー訪問(3-2) | | | | 保護者会(456) 14:30 SC全員面談(5)終 | | | | | | | | はが子の集い(PTA) | | | | | | | | |
| 14 | 15 | | | | 16 | 国 | | ○ | 17 | × | 短縮時程 | × | 18 | 集 | 5時間 | × | 19 | 式 | 午前授業 | × | 20 | | | | |
| | | | | | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | | | | |
| | 海の日 | | | | 日生劇場鑑賞(4) | | | | | | | | 給食終 金管バンド演奏 | | | | 終業式 | | | | | | | | |
| 21 | 22 | | | | 23 | | | | 24 | | | | 25 | | | | 26 | | | | 27 | | | | |
| | 夏季休業始 夏季水泳① 夏季補充教室① リトルティチャー① | | | | 夏季水泳② 夏季補習教室② リトルティチャー② | | | | 夏季水泳③ 夏季補習教室③ | | | | 夏季水泳④ 夏季補充教室④ | | | | 夏季水泳⑤ 夏季補充教室⑤ | | | | | | | | |
| 28 | 29 | | | | 30 | | | | 31 | | | | 8/1 | | | | 2 | | | | 3 | | | | |
| | ゼミの別 化懇話会 (おやじ の会) 18:00～ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

朝…朝会 国…国語 算…算数 読…読書 集…集会 式…始業式、終業式等

※()内の数字は該当学年

※P以下の数字は校時

※日付下部の数字は左から順に第1学年から第6学年までの授業時間

※クラブ・委員会のある日は、授業は5時間ですが、実質6時間目終了後と同等の下校時刻になります。

〈スクールカウンセラー来校予定〉

7月 3日(水) 10日(水)

※お問い合わせ

来校日用スクールカウンセラー直通番号

TEL 090-7196-9537

生活指導上のお願い

週末は上ばきを持ち帰り、きれいに洗って、週明けに持たせるようにお声掛けをお願いします。

学びに向かう力

教務主任 関根 章浩

もし、子供に「なんのために勉強をするの?」と聞かれたら、どう答えますか。「大きくなったときに役に立つ」「将来の可能性を増やすため」「いつか分かるさ…」など、様々な答え方があると思います。

しかし、学校の学習内容全てが大人になって日々の生活の役に立つかという、疑問が残ります。むしろ、「飛行機の乗り方」を学校で教えてくれれば良かったのに。などと思うこともあるかもしれません。

学校教育で身に付けさせたい「学びに向かう力」とは、一人一人が自分の人生をより豊かにするために、自分の「夢や目標」そして「今の自分」を知り、必要な道筋を考えて進んでいく力です。学校の授業では、めあてに向けて計画を立てたり、振り返ったりするなどの活動を通して、学習内容そのものだけでなく、こうした学びに向かう力を身に付けられるよう指導しています。

大人になって初めての一人旅。飛行機の乗り方を自分で手に入れ、自由に行動できるような大人に育ててほしいです。

令和6年度 校内研究 研究主題

自らの思いをもち、表現できる児童の育成

～書くことの指導を通して～

研究推進主任 箕浦 秀一

自分の思いを相手に伝える。

人が社会の中で生きていくために、必要不可欠なことです。学期末にお渡しする通知表では、思考力・判断力・表現力等という言葉で表されています。この力を伸ばすには、どうすればよいか。その答えに挑むために、昨年度から引き続き、今年度も校内研究を進めています。

昨年度の成果として、何をどのように表現すればよいかを丁寧に学習することで、課題となる文章を書き上げられるようになることが明らかになりました。今年度はそこから更に一歩踏み込み、自分の思いをよりよく相手に伝えられるようになるためには、どのように学習を展開すればよいかを追究していきます。

校内研究を通して、自分の心の中にある、初めは言葉にならないような思いを、相手に伝わるように表現しようとする人になってほしいと願っています。